

鹿島少年自然の家の平成26年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 北村 修
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体アンケートの実施(56通) ・利用者ニーズの反映(厨房入口ドア網戸修繕等)
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピザ作り、そば打ち体験の日帰りコースなど6事業実施(参加人数181名) <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新 ・主催事業広報用リーフレットの作成・配付 ・近郊の小・中学校を訪問し、季節に応じた利用の提案(夏合宿、スキー体験等) ・近郊の公民館や老人団体、婦人団体、青年団等に対する訪問PRの強化 <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋チャレンジプログラムの実施(2回/70名参加) ・子ども自然学校の開催(18プログラム/699名参加)
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用許可の件数(2(2)参照) ・使用料の収入実績(2(3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃業務、設備保守点検、防火管理</p> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両修繕、厨房修繕など
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網、消防計画、危機管理マニュアル等の見直し・作成、避難訓練の実施 <p>個人情報の管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員に周知し、適正に管理

2 施設の利用状況

(1) 利用指標

指標	H 2 5 年度 (参考)	H 2 6 年度	前年度比	増減理由
総利用者数 (人)	13,197	12,474	94.5%	利用団体数の減少による

(2) 使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
鹿島少年自然の家	259	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
食事料	9,218千円	—	
寝具料	741千円	—	
暖房料	175千円	—	
スキー用具料	53千円	—	
合計	10,187千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	34,355	人件費	28,882
利用料収入	10,188	光熱水費	3,520
その他	2,939	修繕費	755
		設備保守	762
		食材費	7,349
		その他	7,541
合計	47,482	合計	48,809
収支差額	△1,327		

(5) 中期経営目標の進捗状況

中期経営目標 (実施期間 H 2 6 ~ H 2 8)

- ① 利用者を3年間で2%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

① 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H 2 4 実績値	H 2 5 実績値	H 2 6 実績値	目標値 (H 2 8)
①利用者数 (人)	13,976※	13,197	12,474	14,250人

②利用者アンケートによる満足度				
利用者サービス (%)	98.3%	98.8%	94.6%	95%以上
施設の維持管理 (%)	96.0%	96.3%	85.7%	95%以上

※過去5年間における利用者数のばらつきが大きいいため、実績値をH20～24の平均とした

② 平成27年度における取組内容の見直し等

<ul style="list-style-type: none"> 七尾市、羽咋郡市、中能登町の小中学校を訪問し、夏期合宿等での利用を呼び掛けるほか、親子行事や子ども会活動での利用を呼び掛ける。 樹木テーリング、地引網体験、筍採り、りんご狩り、雨宮古墳での活動など、施設周辺の自然・文化施設を活用した、魅力あるプログラムの開発に努める。 指定管理者所管施設である「のとじま水族館」「ふれあい昆虫館」などと連携したプログラムの開発に努める。

(6) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数56件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	33.9%	60.7%	5.4%	0%
施設の維持管理	23.2%	62.5%	14.3%	0%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成26年4月	17時の夕食は早い	17:30からに変更
平成26年10月	雨天時の活動を増やしてほしい	27年度から新クラフトメニュー開始（安価で親子で楽しめるクラフト「森のマグネット」）
平成27年2月	スキーリフトが使いにくい	小学生の背丈に合わせて高さ調整

② 事故、故障等

年月	内容	対応
平成26年4月	バス、公用車の不具合	修繕
平成26年12月	ガスメーター取替	取替

③ その他報告事項など

特になし

(7) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設との連携や地域の特色をいかした新規プログラムの開発に取り組んでいる。 ・学校・公民館・スポーツ団体等対象に応じたチラシを作成し、施設利用PRを積極的に行っている。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕等に積極的に対応している。（車両修繕、ガスメーター取替、厨房入口ドア修繕等） ・施設内は概ね清潔に保たれており、適切な管理が行われている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・大学との連携のもと、学生ボランティアを積極的に受け入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。 ・非常時の連絡体制や消防計画などが定められ、安全対策が適切である。 ・個人情報保護や宿直業務など、適切な管理が行われている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、施設利用PRや利用者ニーズに対応した施設整備の充実に、積極的に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(8) 助言・指摘事項

閑散期（特に秋～冬）の利用促進に向けたプログラム開発とさらなるPR。